

2月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和7年2月4日(火)

午前9時30分～

地域交流センター第3・4研修室

出席委員 職務代理 小山正文 委員 高野羊子
委員 坂口曜子 委員 小松小百合

出席職員 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学校長 伊藤尊夫
筑北中学校長 白井伸明 教育長 加瀬浩明
次長 宮下信俊 係長 白井太津男 主任 高野智弘

一 開会(宮下教育次長)

令和7年2月の麻績村教育委員会定例会を始めます。よろしくお願ひいたします。

二 教育長挨拶(加瀬教育長)

教育長: それでは2月の定例教育委員会を始めさせていただきます。

三 報告

1) 教育長報告

宮下次長: 報告事項に移ります。教育長報告をお願いします。

教育長: 今年度も残り2カ月となりました。残っている事業の推進および新年度の予算編成、卒園卒業の準備等々忙しくなりますのでお願いします。

新型コロナウイルス感染症が増加傾向にあるようです。気をつけて年度のまとめをお願いします。

市町村教委連絡会では、非違行為の根絶と、児童生徒の登下校途中の安全管理が主な内容でした。

県内では、いじめに関する重大案件が出ているようです。今対応しているそうです。いじめの対応については初動対応が重要であります。担任の先生一人で動くのではなく、組織で動いて児相や警察など各関係機関とも連携を取りながら対応する必要があります。オープンにして対応するようにと指導がありました。

年度末で事務処理、会計処理をする時期となっています。適切な処理

をお願いします。成績物、調査書等の書類の間違いがないようお願いします。

2月ですが、明日中信教育事務所の主幹指導主事の先生が来られます。情報交換をさせていただきます。私と次長とで対応いたします。校長先生へお聞きするようなことがあれば連絡させていただきます。

11日に新春講演会があります。森永康平氏の経済の話が中心となります。よろしければご参加ください。

20日は公民館運営審議会の予定となっています。

3月に入ってすぐに、図書館20周年記念講演会があります。長野ヒデ子さんの講演会です。

3日に今年度最後の市町村教委連絡会があります。

年度末となります。しっかりとまとめをして次につながるようにお願いします。以上です。

宮下次長: 只今の報告についてご意見等ございましたらお願いします。続いて子育て支援コーディネーター報告に移ります。

2) 子育て支援コーディネーター・保育園長・学校長報告

高野C.O: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて保育園長報告に移ります。

塚原園長: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて小学校長報告に移ります。

伊藤校長: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それでは続いて中学校長報告に移ります。

白井校長: (以下、資料に沿って説明)。

宮下次長: それぞれからご報告いただきましたが、委員の皆様からご質問等ありますか。

小松委員: 放課後児童クラブの職員体制はその後いかがでしょうか。

高野 C O: 現在 2 名体制で子どもたちを見ています。つかず離れずの距離感で子どもたちの見守りを行っています。子どもたちも、落ち着いた生活を送っています。必要に応じて役場職員も補助に入っています。

小松委員: ルールの見直しとありますが、子どもを交えて見直しをしているのですか。

宮下次長: この報告書にある通りには現状では足りていません。現場側と資料作成者との間に認識の乖離があるように思います。近日中に現場側と話し合いをする予定です。

保護者からの話では、以前のダメなものは「ダメだよ」とはっきりした物言いの指導が安心するという声もあります。禁止事項の声かけがなくなつて安心するのかと思っていましたが、逆の反応だったので意外に感じています。また新たな課題が出てきました。いずれにせよ新たな体制でより良い環境を作っていくかなければなりません。

坂口委員: 学校給食についてお願いします。食材提供者からの声ですが、あさつゆが無くなることで、今後は「食材の納品ができなくなるのか」と言わされました。栄養士さんからは「来年もお願ひします」と言われたそうです。一方で「教育委員会の許可をもらわないと出せないんだ」と聞きました。栄養士さんからお願いしますと言わっていても、許可が下りなければ作っても仕方ありませんよね。あさつゆが無くなつた後の食材の納品の仕方についてお願いします

宮下次長: 具体的なアナウンスはできていません。坂口さんに言われた方が、どういう所を心配されているのか分かりません。「教育委員会の許可を」という話をした記憶はありません。どのような話で、どこから聞いてきたのですか。

坂口委員: あさつゆから聞いてきたみたいです。私が教育委員なので訊ねてきたようです。

宮下次長: 振興課担当の話によりますと、あさつゆの後を継いでくれる方を模索しているようです。この部分が決定しない限り、教育委員会としてもアナウンスできません。学校給食に支障が出ないように現場の受入れ体制に関わる部分の準備は進めています。

坂口委員: この春から植え付けが始まるので、出せるのか出せないのか知りたいです。引き続きお願いされれば準備します。個人だと受入れてもらえないとなれば作っても仕方ありません。ある程度お知らせを出したほうがいいと思います。早急に対応お願ひします。

四 報告・協議事項

(1) 令和 7 年度の教育委員会関係予算について（現時点）

宮下次長: 全体的に令和7年度は、人件費がベースアップに伴って増えています。

教育委員会で大きな予算の割合を占めているのが、子どもたちの使っているタブレット端末の更新になります。また、中学校の教科書改訂に伴って必要な予算を計上しています。

給食費ですが、本年度は小学校で一食当たり300円でしたが、物価高騰により360円で予算計上しています。中学校は一食当たり340円から来年度は410円で予算計上しています。本年度途中でも当初予算では足りず補正対応しました。

施設設備に関して保育園のLED化の予算計上をしています。また、園庭遊具の安全対策に予算を計上しています。麻績小学校の校内サーバーの更新費用のほか米の保管庫および真空冷却器の予算計上をしています。理科の顕微鏡を小中学校共に更新できるように予算計上しています。小学校図書館の一部雨漏りがあるということで、雨漏り対策工事費の予算を計上しています。中学校では、学習センターのテーブルと家庭科室の丸椅子の予算を計上しています。また、小学校同様に米の保管庫および真空冷却器の購入の予算を計上しました。

人件費の改善と給食調理室の改善が来年度は取り組める見込みです。予算については以上となります。

教育長: よろしいでしょうか。

(2) 子ども議会について

宮下次長: 1月に子ども議会が開催されました。6年生が4グループに分かれて質問しました。改善に向けた提案型の質問で、具体的な内容で感心しました。理事者は簡単に首を縦に振らないのですが、今年度はゼロ予算で取り組めるものについては、取り組む姿勢を見せてくれました。前向きな回答を引き出せたことは良かったと思いました。

具体的に申しますと、聖高原駅に関する質問で、村の玄関口である駅に村の公式キャラクターのおみぽんグッズや村出身の画家が描いた風景画を飾って村の魅力を伝えたらどうかという質問がありました。

「JR東日本から了承が得られれば早速取り組みます」と村長から回答がありました。

また、聖高原スキー場のムービングベルトの設置に関する質問がありました。理事者の回答は「上手くなるまで頑張って上り下りするように」との回答に、がっかりした子ども多かったかもしれません。

今後も引き続き子どもの声を村政に繋げ、良い活動が続けられたらと

思いました。以上です。

教育長: よろしいでしょうか。

白井係長: 今年度は改善のための具体的な提案があつてとても良かったと思いました。子ども議会は何処よりも古くから麻績村ではやっています。回を重ねてきたことによって、質問の内容が洗練されてきたのは良かったのではないかと思います。

坂口委員: 子ども議会で提案したことが一つでも実現されると、子どもたちの励みになるし、地元への愛着にもつながると思います。少しでも子どもたちの願いが形になる村になってほしいです。

教育長: 質問内容のアドバイスができると思うので、事前に教育委員会と打ち合わせができるといいと思います。担当の先生だけでもいいので、少し打合せの時間が取れれば、さらに活動が深まるかと思いました。

(3) 長野県高校再編移管する意見聴取について

宮下次長: 長野県教育委員会から照会がありました。再編に関する基準等の再検討についてであります。令和5年度を初年度とするものが現行のものになります。しかし、高校が無くなってしまうという各地域からの声が県教委に届いたことにより、基準の見直しに伴って原案が示されました。

我々が関係するところは通学区4番になります。我々東筑管内についてはそれほど影響がないかと思います。県教委へは原案1から5番の項目について回答することになっています。ここでは、皆様にお諮りして何かご意見があれば県教委へ繋げたいと思います。以上です。

教育長: よろしいでしょうか。今後色々な形で意見聴取が進められるかと思います。ありがとうございました。

五 その他

1) 各委員から

教育長: 委員の皆様から何かございましたらお願ひします。
よろしいでしょうか。

小松委員: 長野駅前での痛ましい事件は大変ショックでした。犯人が捕まるまで

不安でした。子どもたちの安全も心配でした。自分自身また子供たちの安全をどう守っていくのか考えさせられました。

坂口委員: 事件の次の日は子どもをバスに乗せようか悩みました。これで何かあつたら私は一生後悔するだろうなと思いました。通学途中で大人が目をかけないと怖いなと思いました。親の送り迎えが一番安全かと思います。しかし、そこまでやりきれないで、要所要所で見守りの体制が機能すると安心です。スクールパートナーズの力を借りながら安全な登下校をお願いしたいです。

高野委員: 村内に防犯カメラは設置してありますか。

宮下次長: あります。令和4年に増やしています。脅迫メールが学校宛てに来るので、臼井校長とは校内に防犯カメラがほしいという話しをしています。

高野委員: バス停付近に設置してほしいです。大人の見守りの限界と子どもたちの安全を守るためにお願いします。各地域にお願いしてでも設置できるようにしてほしいです。学校や行政でも注意喚起の連絡がすぐ出せる体制づくりをお願いします。何が起こるか分からぬし、連鎖的に事件が発生すると聞くのでお願いします。

小山職務代理: 学校に防犯カメラはあったほうがいいと思います。敷地内は自由に入りできてしまうので、玄関くらいには必要かと思います。カメラがあることによって抑止力になります。
テレビなどの広告を見ると消費を煽るようなものが見られます。情報を取捨選択できる力を持つてほしいです。

臼井校長: 防犯カメラは付けてほしいです。

麻績村において、生活保護など成人した人のケアは人数が少ないからこそできるのではないかと思います。

伊藤校長: 小学校にも防犯カメラはあったらいいなと思います。図書館は、学校と地域の方が一緒に使っているので、いろいろな人が来ます。あまり接触はありませんが一般の方の出入りがあるので、あったらいいなと思います。

塙原園長: 保育園では、入り口がたくさんあります。門の付近に防犯カメラがあると安心かと思います。それからナンバーディスプレイの電話がある

といいです。

2) 事務局から

教 育 長: 事務局より連絡事項お願いします。

宮下次長: 防犯関係でお願いします。役場では閉庁日に職員玄関を施錠するようになりました。インターホンで確認してから窓口対応するように変わりました。教育現場でも何かしらの対策はしていかなければならないと思います。

3) 次回予定

次回の定例教育委員会の日程 3月5(火) 午前9:30~

六 閉会

教 育 長: 以上をもちまして2月の定例教育委員会を閉じます。